

I 学校の概要

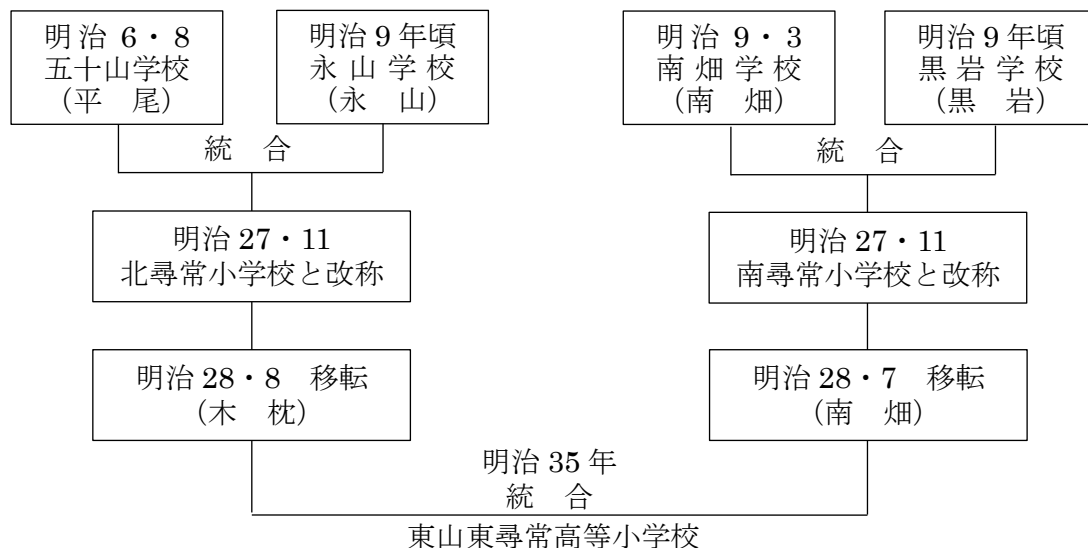
1. 所在地

〒640 - 0303 和歌山市山東中 52 - 1

電話 (073 - 478 - 0052) FAX (073 - 478-2252)

学校長 阿部敬子

2. 東山東小学校の沿革



- 明治 35 年 12 月 5 日 現在地（山東中）に東山東村立東山東尋常高等小学校として創立
- 41 年 4 月 16 日 校舎 40 坪増築
- 45 年 9 月 1 日 教室 100 坪、職員室改増築
- 大正 13 年 7 月 2 日 教育後援会創立総会を開く
- 14 年 7 月 15 日 3 教室 78 坪改築
- 15 年 1 月 6 日 校歌を制定
- 昭和 2 年 9 月 2 日 校旗を制定
- 5 月 27 日 運動場 8 畝 4 歩拡張
- 16 年 4 月 1 日 法令により東山東村立東山東国民学校と改称する
- 10 月 10 日 校舎 3 教室増築
- 19 年 8 月～10 月 大阪より学童疎開児を迎える
- 20 年 8 月 15 日 終 戦
- 10 月 26 日 大阪学童疎開児帰る
- 22 年 4 月 1 日 法令により東山東小学校と改称する
高等科が廃止され、新制の東山東中学校となる
- 12 月 9 日 ラジオ放送聴取設備完成
- 23 年 3 月 2 日 育友会（PTA）結成
- 24 年 1 月 17 日 「子ども銀行」（農協）がはじまる
- 27 年 10 月 3 日 北 2 教室新築、少年野球大会開催
- 29 年 5 月 22 日 講堂落成（105 坪・和室が付く）

- 昭和 30 年 2 月 21 日 本館（職員室・宿直室等）改築
- 31 年 9 月 1 日 和歌山市に合併和歌山市立東山東小学校と改称する
- 34 年 12 月 31 日 「心もち運動」実施。各施設にもち、みかんを送る
- 37 年 4 月 1 日 東中学校分校移転により、旧校地 2,330 坪が移管される
- 4 月 3 日 校歌を改定
- 39 年 2 月 5 日 プール竣工
- 40 年 10 月 29 日 国語教育研究会開催
- 11 月 30 日 県給食優秀校として表彰される
- 41 年 6 月 11 日 よい歯の学校として表彰される
- 44 年 4 月 19 日 鉄筋校舎・給食室落成
- 5 月 16 日 カラーテレビが視聴覚室に入る
- 6 月 4 日 学校園造成
- 45 年 6 月 8 日 岩石園造成
- 46 年 7 月 30 日 体育倉庫新設
- 9 月 21 日 交通教室造成
- 47 年 8 月 29 日 旧中学校舎撤去、運動場西側ブロック塀新設
- 11 月 6 日 開校 70 周年記念式典開催
記念碑建立・放送設備改設、観察園・森林園造成他
- 49 年 11 月 16 日 花壇コンクール優秀賞受賞
- 50 年 8 月 2 日 「納涼の夕べ」開始される
- 52 年 6 月 11 日 上水道施設完備
- 53 年 4 月 26 日 運動場夜間照明施設竣工
- 54 年 10 月 29 日 鉄筋校舎本館（3 階建）竣工式
- 55 年 11 月 29 日 運動場フェンスの工事完成
- 56 年 2 月 3 日 社会科研究会開催
- 57 年 4 月 7 日 鉄筋南校舎（2 階）4 教室増改築工事完成
- 6 月 5 日 よい歯の学校賞受賞
- 58 年 6 月 1 日 屋内運動場（735 m²）竣工式、東門改修・岩石庭園を設置
- 59 年 11 月 8 日 体力づくり施設（竹の道）完成
- 60 年 11 月 28 日 県健康優良校として表彰される
- 61 年 11 月 2 日 健康優良校県代表に選ばれ、文部大臣賞受賞
- 62 年 2 月 9 日 アスレチック工事完成
- 63 年 7 月 20 日 ビッグアートコンテスト優秀賞受賞
- 10 月 3 日 県道和歌山橋本線（新道）開通式典
- 平成 2 年 10 月 30 日 校内放送設備新設
- 3 年 1 月 21 日 玄関周辺整備 コンクリートカラー舗装完成
- 11 月 28 日 県よい歯の学校、県健康推進学校（8 回目）受賞
- 4 年 12 月 19 日 中庭（鳥小屋周辺）コンクリートカラー舗装工事完成
- 5 年 1 月 6 日 創立 90 周年記念式典開催
記念文詩集・育友会誌他発行
- 6 月 5 日 よい歯の学校受賞

- 平成 5年 6月 30日 プール新設工事完了 体育倉庫・外便所竣工
7月 16日 プール竣工記念式典開催
12月 2日 全日本よい歯の学校賞（会長賞）受賞
- 6年 6月 4日 よい歯の学校賞受賞
9月 9日 物置新設
10月 19日 国語教育研究会開催
11月 3日 健康推進校中規模校県代表として全国表彰受賞
- 7年 4月 10日 平成7・8年度 国語科市研究指定校に決定
5月 19日 地区めぐりウォークラリーTV 和歌山で放送
10月 31日 県教育会、本校共催教育講演会で浅井周英教育長講演
11月 13日 健康推進校中規模校県代表として全国表彰受賞
11月 24日 国語科作文教育の拡大現職教育を行う
11月 30日 県健康推進学校賞、県よい歯の学校賞受賞
- 8年 2月 2日 交通安全功労者学校表彰受賞
6月 28日 校内研究授業（大阪教育大学教授 中西一弘先生より指導）
10月 16日 教科別研修会・国語科作文教育
（大阪教育大学教授 中西一弘先生より指導・講演）
11月 28日 健康推進校中規模校として県表彰受賞
- 9年 4月 10日 平成9・10年度 国語科市研究指定校に決定
11月 7日 ドリームプラン事業、白谷賢二先生を迎えて陶芸教室
11月 20日 大阪教育大学教授 中西一弘先生を迎え、国語科作文拡大現職教育
- 10年 3月 1日 和歌山放送「わたくしの作文」平成3年度から学校賞連続受賞
3月 18日 木造便所取りこわし跡地の整地工事完了
7月 14日 ドリームプラン事業、親子で観劇「ドン・キホーテ」鑑賞
10月 1日 地域の方をまじえ、杉谷昭子ピアノコンサート開催
11月 11日 教科別研修会・国語科作文教育（大阪教育大学教授 中西一弘先生講話）
- 11年 2月 15日 国語科作文教育の取り組みに対し、和歌山県教育研究奨励賞受賞
8月 27日 運動場西側に砂場完成
11月 25日 県よい歯の学校賞受賞
- 12年 4月 3日 平成12・13年度 国語科市研究指定校に決定
6月 10日 歯科保健優良校として受賞
11月 15日 国語科研究発表会を開催
12月 3日 和歌山市小学校バスケットボール大会で男女準優勝をする
- 13年 8月 3日 ビオトープ完成（体育館西側）
11月 14日 国語科研究発表会を開催
- 14年 6月 8日 歯科保健優良校として受賞
10月 27日 創立百周年記念式典
11月 28日 県学校歯科保健優良校として受賞
- 15年 4月 文科省より学力フロンティアスクールとして指定を受ける
（平成17年3月まで2年間）
6月 7日 歯科保健優良校として受賞

平成16年	6月5日	歯科健康優良校として受賞	県学校歯科保健最優良校として受賞
18年	5月25日	第51回「市長の校区トーク」が開催される	
	7月5日	南極の氷を観測船「しらせ」より贈られ、児童・保護者が南極の自然や観測の様子を学ぶ	
19年	8月	図書室改装	
	11月	県小学校人権の花運動 優秀賞受賞	
20年	5月25日	大雨による増水のため、東門および橋の沈下が起きる	
	11月	東門および橋の再建工事が始まる 県小学校人権の花運動 最優秀遼受賞	
	12月	子ども暗唱大会 城南ロータリークラブ賞受賞	
21年	9月1日	県小学校人権の花運動 優秀賞受賞	
22年	2月18日	和歌山市教育委員会主催	教育論文 優秀賞受賞 (本校の国際理解教育・外国語活動)
	8月	南校舎耐震工事終了	
23年	11月16日	教科等別研修会で外国語活動の研究授業を行う	
24年	4月1日	平成24・25年度 和歌山市教育研究学校に指定される (外国語活動・国際理解教育)	
25年	11月	県学校歯科保健優良校表彰	
	11月16日	外国語活動・国際理解教育についての研究発表会開催	
28年	11月	県学校歯科保健優良校表彰	
31年	4月	平成31年ー令和2年度 和歌山市教育研究学校に指定される (外国語活動)	
令和元年	10月23日	教科等別研修会で外国語の研究授業を行う	
	11月	県学校歯科保健最優良賞表彰	
令和2年	3月	フェンス改修工事終了	
	4月	小学校本館トイレ改修工事終了	
	12月	全日本学校歯科保健優良校表彰 奨励賞受賞	
令和3年	12月	校門前花壇 整備	
令和4年	3月	きのくに読書活動優秀実践校表彰	

3. 地域社会の状況

(1) 位置と地勢

本校は、和歌山市役所より、約10kmの南東方にあって、海拔12.4メートル、北緯34度11分59秒東経135度15分46秒に位置する。東は紀の川市貴志川町に接し、南は海南市小野田、北は矢田峠を境として和佐にのぞみ、西は西山東に接続している。地勢は、竜門山脈が西に走り、鶏冠山を中心として南北にその余波を延ばし、北に迂回して金谷峠、城が峰、矢田峠をつくり南は櫟が峰、大旗山（揚柳山）馬路峠、小池峠等を形作っている。

以上のように東山東地区は山に囲まれているため、地域のいたるところに、丘陵性の小山をつくり、内部に盆地を形成している。従って地勢は東、南、北が高く、西に向かってゆるやかに傾斜している。河川は西に流れ、その流域に平地が開けている。

地域の人々は、昔から丘陵性の小山を開墾して、畑を作り、かんきつ類を栽培している。河川としては僅かに、用廃水を併せた永山川、小池・馬路峠より流れる小池尻川、大河内櫟が峠より流れる大河内川があるのみで、かんがい用水は、各谷に散在する溜池で養われている。

このように、山々は一面の緑で里の空気は澄み、川の清流には、小魚が遊泳して、春秋には野花が咲き乱れて、小規模ながら、市の桃源郷と言われている。

(2) 地域の人々の生活

住民は旧東山東村以前よりの人々が大半を占め、主として、農業で生計を立ててきた。

特に山東の筍は有名である。戦前、戦後は稲作が盛んで、従って、かんがい用の溜池が多く、大小併せて約 200 余りもあった。

ミカンの栽培が盛んになるにつれて山々は開墾され、水田が殆ど見られなくなってきた。かんきつを主として樹園地は地区の約 6 割を占め、地域全体では、兼業も入れて約 6 割の人々がこれらの仕事に従事している。

しかし今では、会社や、金融機関、公官庁関係などに勤める人々が多くなった。

経済圏については、村当時は野上方面や海南市とのつながりが深く、生活の必需品等を中心に交流されてきたが、貴志川線の開通以来、漸次、和歌山市との交流が頻繁になって、後日、市との合併後ますます密接になってきている。昭和 63 年の県道和歌山橋本線（新道）開通によって、道路事情が改善され東西の車の量が急増している。また、矢田トンネルを経て、和佐方面へ通じる道路も整備され、大型車の行き来が盛んになり、工場も建ち、人々の生活に影響を与えつつある。矢田地区にできた自然観察の森では、野鳥や昆虫、植物といった身近な自然と触れ合え、一方で、自然観察を通じて自然保護の心を大切にし、守っていく場として、年々訪れる人が多くなっている。また、その中に四季の郷公園があり多くの市民が訪れている。また、子ども達の絶好の遠足場所にもなっている。新道には、和歌山電鐵貴志川線が並行して走り、いちご電車、たま電車、うめ電車がのどかな田園風景に彩りを添えている。

民情については、昔の村当時の気風が残っていて、家庭的で地域全体がよくまとまり、地区的な行事や仕事等は協力的で、しかも勤勉である。従って生活は比較的豊かで、経済的には安定している。また、子弟の教育には関心が高く、昔から学校教育には理解が深く、いたって協力的である。

(3) 地域の変遷

1. 明治維新以前は、紀伊の国名草郡山東荘と称し、矢田、明王寺、塩ノ谷、平尾、木枕、永山、中村、大河内、南畑、黒岩外に、その後西山東村に属し伊太祈曾、口須佐、奥須佐、頭陀寺、の 14 か村であった。
2. 明治 5 年、廃藩置県によって名草郡第一大区第十六区と称する。
3. 明治 22 年、町村制の実施。黒谷を加えて 11 か村となる。
4. 明治 29 年 4 月、名草郡と海草郡の合併により、海草郡東山東村と称する。
5. 大正 4 年 2 月、山東軽便鉄道（今の和歌山電鐵貴志川線）が和歌山市～伊太祈曾間に開通。
6. 昭和 8 年 8 月、同上鉄道、山東～貴志川間開通。
7. 昭和 31 年 9 月 1 日、廃村され、和歌山市に合併する。
8. 昭和 63 年 10 月、県道若山橋本線（新道）開通。
9. 平成 3 年 7 月、「自然観察の森」が完成する。
10. 平成 7 年 5 月、「四季の郷公園」が完成する。
11. 平成 13 年 4 月、「山東中ふれあい橋」が完成する。
12. 令和 2 年 7 月、「道の駅 四季の郷公園『FOOD HUNTER PARK』」が開業する。